

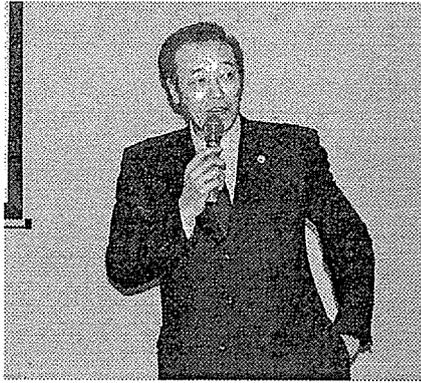
佐賀建設新聞

発行所
株式会社 建設新聞社
〒849-0301
小城市牛津町乙柳1145-7
Tel. 0952-66-5750 (代)
FAX 0952-66-5751
購読料 月額5,775円(税込)
社団法人 日本専門新聞協会 会員

佐賀地区講演会を開催

地盤工学会九州支部

地盤工学会九州支部の2009年度佐賀地区地盤工学講演会が13日、佐賀大学であり、



講演する日本建設技術協会の原裕社長

日本建設技術協会の原裕社長と防衛大学の宮田喜尊准教授が斜面安定工法や限界状態設計法について講演した。講演会には建設会社をはじめ、コンサルタント会社や佐賀大学などから約70人が参加した。

原社長は「斜面調査と斜面安定工法の施工事例」をテーマに講演。斜面安定や地すべり対策として施工するアンカー



会場のようす

工法を取り上げ、斜面調査の留意点、適正な施工計画について解説。その中で「約18年前から二重防食の考え方を

受けた永久アンカー構造が普及しており、耐久性に優れたものを使った方が良い」と話した。

宮田准教授は、補強土構造物の限界状態設計法について、設計の基本的な考え方や最近の研究動向を紹介。構造設計の歴史などを説明した上で「設計の精度を上げるには実態に即した荷重・耐力係数の算定が必要。従来の実績をもとに現行設計法の更新計画を作成し、実験や解析による妥当性の検証を重ねて改善していくことが大切だ」と強調した。